

BLUEDOT®

ブルーレイディスク・プレーヤー
BBDP-10
取扱説明書



BLUEDOT株式会社

はじめに

弊社ブルーレイディスク・プレーヤーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
はじめに、この取扱説明書と保証書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後はいつでも見られるよう、大切に保管してください。

本機の特徴

1. ブルーレイディスクならではの高精細フルハイビジョン映像を再現

本機のHDMI端子を利用してテレビに接続すれば1080p(フルハイビジョン、60コマ/秒のプログレッシブ出力)という、ブルーレイディスクならではの高品位映像を余すことなくお楽しみいただけます。また、お手持ちのDVD-Videoディスクも1080pに変換して出力できます。

- * お手持ちのテレビおよびディスクが1080pに対応している必要があります。
- * HDMIケーブルは市販のものをご利用ください。

2. 映像特典の新機能「BONUS VIEW」に対応

映画などを収めたブルーレイディスクのビデオソフト(いわゆるBD-ROM)では、DVD-Videoにない新たな機能を利用することができます。本機はBD-ROM Profile Ver. 1.1に対応しており、第2映像(ピクチャーインピクチャー)や第2音声(セカンダリーオーディオ)といった新機能「BONUS VIEW」を楽しむことができます。

- * ディスクにBONUS VIEWのコンテンツが収録されている必要があります。

3. 多彩なサラウンド音声に対応

本機はDolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby Digital TrueHD、DTS Digital Surroundなどの音声フォーマットに対応しており、最大で7.1チャンネル(7つのスピーカーおよび低音スピーカー)のサラウンド音声をお楽しみいただけます。

- * 7.1チャンネル音声をお楽しみいただくためには、ディスクに対応音声が記録されている必要があります。また、7.1チャンネル対応のAVアンプおよびスピーカーシステムに接続する必要があります。

4. 映画の質感を余すことなく再現する1080p24出力モードを搭載

1080p24出力モードを使えば、ブルーレイディスクに記録されているフルハイビジョン、24コマ/秒の映像をダイレクトに出力することができます。余分な映像変換をせず、映画特有の24コマ/秒のまま処理されるため、映画の質感を余すことなく再現できます。

- * お手持ちのテレビおよびディスクが1080p24に対応している必要があります。
- * HDMIケーブルで接続する必要があります。

5. 録画したBD-R/REディスクの再生に対応、CPRMディスクも再生可能

お手持ちのブルーレイディスク・レコーダーで録画したBD-R/REディスク(BDAV形式)を再生できます。また、デジタル放送を録画したCPRM対応のDVD-R/RWディスクの再生にも対応。これまでレコーダーで録りためたディスクを、安心して再生いただけます。CMスキップ(27秒スキップ)機能もご利用いただけます。

- * DVD-R/RWディスクを再生する場合はファイナライズ処理が必要です。
- * ディスクの記録状態、データのフォーマット、製造メーカーとの相性により、再生できない場合があります。

6. ビデオカメラで撮影したAVCHDディスクの再生に対応

ハイビジョン・ビデオカメラで録画したAVCHD形式のDVD-R/RWディスクを再生できます。鑑賞のたびに、わざわざビデオカメラをテレビに接続する必要はありません。思い出の映像を気軽にお楽しみいただけます。

* DVD-R/RWディスクを再生する場合はファイナライズ処理が必要です。

* ディスクの記録状態や製造メーカーとの相性により、再生できない場合があります。

7. 豊富な映像・音声出力端子を装備

本機はHDMI端子のほか、映像出力端子としてコンポーネント映像端子、S映像端子、映像(コンポジット)端子を、音声出力端子として光・同軸デジタル端子、2チャンネル・アナログ端子、7.1チャンネル・アナログ端子を備えていますので、お手持ちの機器に合わせて使い分けいただけます。

* D端子を備えるテレビに接続する場合は、市販の「コンポーネント映像端子→D端子変換ケーブル」をご利用ください。

8. USBメモリーやデータディスクに記録した動画や音楽、写真の再生に対応

USBメモリーやデータCD/DVDに記録すれば、パソコンで加工したMPEG-4形式の動画ファイルやMP3形式の音楽ファイル、デジタルカメラで撮影したJPEG形式の画像ファイルを再生できます。USBマストレージに対応した市販のカードリーダーを使えば、各種のメモリーカードを読み込ませることも可能です。

* メディアの記録状態、データのフォーマット、製造メーカーとの相性などにより、再生できない場合があります。

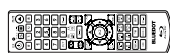
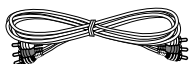
もくじ

はじめに	2	スキップ(飛び越し)	22
本機の特徴	2	スロー再生(低速再生)	23
もくじ	4	CMスキップ	23
付属品	4	アングルを切り換える	23
安全にお使いいただくために	5	BD/DVDのメニュー再生	23
ご使用に関する注意	8	リピート再生(繰り返し)	24
免責事項	8	消音(ミュート)にする	24
お使いになる前に	9	ズーム再生	24
本機で再生できるメディア	10	タイムサーチ機能	24
各部の名前	11	BD-ROM特有の操作	25
本体(正面/天面/右側面)	11	録画ディスクの操作	26
本体(背面)	11	音楽CDの操作	26
表示窓	11	その他の機能	27
リモコン	12	設定を変更する	28
テレビと接続する	13	設定メニューの操作	28
接続の種類	13	設定内容の説明	29
HDMIケーブルを使う	13	音声出力について	34
コンポーネント映像ケーブルを使う	14	動画/音楽/写真のデータを再生する	36
S映像または映像ケーブルを使う	15	準備	36
外部の音響機器と接続する	16	メニュー画面から選んで再生する	37
AVアンプと接続してサラウンド音声を楽しむ	16	すべてのファイルを再生する	37
HDMIケーブルで接続する	16	プレイリストを使う	38
光/同軸デジタル音声ケーブルで接続する	16	スキップ	39
7.1チャンネル(または5.1チャンネル)のアナログ音声		リピート再生(オーディオ/ビデオ)	39
ケーブルで接続する	17	消音(オーディオ/ビデオ)	39
再生の準備	18	ファイル情報の表示(ビデオ/画像)	39
リモコンの準備	18	タイムバーの表示(ビデオ)	39
電源の準備	19	ズーム(ビデオ/画像)	39
電源をオンにする	19	画像を移動する(画像)	40
電源をオフにする	19	画像を回転する(画像)	40
基本的な使いかた	20	故障かな?と思ったら	41
いろいろな再生をする	22	技術仕様	45
字幕を切り換える	22	言語コード表	46
音声を切り換える	22	著作権について	47
サーチ(高速再生)	22		

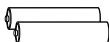
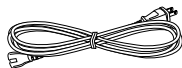
付属品

本機には、下記の付属品が同梱されています。
梱包を開けて、すべての付属品があるか点検してください。

- ① 映像・音声ケーブル 1本 ③ リモコン 1個 ⑤ 取扱説明書(本書) 1冊



- ② 電源ケーブル 1本 ④ 単4乾電池 2個 ⑥ 保証書 1枚



安全にお使いいただくために

ご使用の前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	人がけがをしたり、損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		記号は、禁止される行為を表しています。
		記号は、行わなければならないことを表しています。

警告



異常な状態が見つかったら。

万一、煙が出たり、変なにおいや音がしたりするなどの異常が見つかった場合には、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。その上で弊社サポートセンターに修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですのでおやめください。



本機は日本国内専用です。

外国での使用で故障した場合は、保証対象外となります。また指定の電圧以外で使用すると、火災や感電、破損の原因となります。



禁止

電源コードは破損しないようにする。

- ・ 上に重いものを載せない。
 - ・ ステープルなどでとめない。
 - ・ 加工したり、傷つけたり、無理に曲げたりしない。
- 火災や感電の原因となります。



電源プラグの付着物は取る。

電源プラグにほこりや金属物が付着しているときは、プラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。
火災や感電の原因となります。



電源プラグはきちんと差し込む。

差し込みが不完全ですと、感電や発火の原因となります。
痛んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。



禁止

電源プラグを抜くときは、ケーブルを引っ張らない。

電源プラグを持って抜いてください。
ケーブルが破損して、火災や感電の原因となります。



禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となります。

警告



分解禁止

分解や改造はしない。

内部の部品に直接触れると、火災や感電、けがの原因となります。

また、弊社で責任を負うことができず、保証対象外となります。



禁止

雷がなり始めたら本体や電源プラグには触れない。

本体や電源プラグには触れないでください。感電の危険があります。



禁止

内部に物や水などを入れない。

本体の開口部から内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災や感電の原因となります。



禁止

下記場所に置かない。

- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所。

転倒や落下で、けがをしたり、製品が故障したりする原因になります。

- ・ 油煙や湯気が当たるところ、湿気やほこりの多い場所。

火災や感電の原因となります。たばこの煙や煙をたく殺虫剤なども故障の原因となることがあります。

- ・ 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。

熱により本機が変形、変色、劣化したり、故障や火災の原因となります。

- ・ 寒暖差のはげしい場所。

結露が発生し、火災や感電の原因となります。また、本機が変形、劣化する原因となることがあります。



禁止

水や水滴が付かないようにする。

本体の近くに花瓶、植木鉢、コップ、その他水などの入った容器を置いたり、本体の上に乗せたりしないでください。また本機を水滴のかかる場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。



禁止

落下した機器は使わない。

落したり、カバーやケースがこわれたりした場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、弊社サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

布や布団でおおわない。

本体を、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、ケースの変形や、火災の原因となります。



禁止

天面の吸気口や背面の排気口をふさがない。

本機天面の吸気口や背面の排気口をふさがないでください。

熱がこもり、ケースの変形や、火災の原因となります。



プラグを
抜く

移動するときは電源プラグを取り外す。

けがや火災、感電の原因となります。

⚠ 注意



禁止

大きな衝撃や力を加えない。

本機を投げたり、ぶつけたり、落したりするなど、大きな衝撃を与えることはおやめください。

破損やけがの原因となります。



禁止

機器の上に乗らない。

お子様が機器に乗ったりしないように、ご注意ください。破損やけがの原因となります。



プラグを
抜く

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

ディスクトレイに指を挟まないように注意する。

けがの原因となります。お子様が触らないようにご注意ください。



禁止

ひび割れ・変形したディスクを使用しない。

本体内部でディスクが破損し、本機の破損やけがの原因となります。



プラグを
抜く

お手入れは必ず電源プラグを外して行う。

破損や感電の原因となります。

電池について安全上の注意(電池は誤った使い方をしない)

⚠ 警告



禁止

電池は乳幼児の手の届く場所に置かない。

電池は飲み込むと窒息や内臓への障害の原因となることがあります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。



禁止

乾電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電したりしない。

破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けがや火傷の原因となります。

⚠ 注意



禁止

指定以外の電池を使わない。新しい電池と使用した電池・違う種類の電池を混ぜて使わない。

電池の性能の違いにより、破裂・液漏れなどを起こし、けがや火傷の原因となります。

⚠ 注意



使い切った電池はすぐにリモコンから取り出す。

そのままリモコンの中に放置すると破裂・発熱・発火・液漏れなどを起こし、けがや火傷の原因となります。



電池の液が漏れたとき素手で液を触らない。

液が目の中に入ったとき
目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で洗い、至急医師にご相談ください。

液が身体や衣服についたとき
すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、その後医師にご相談ください。

ご使用に関する注意

お手入れ

お手入れにはベンジンなどの化学薬品を使わないでください。表面が変質する原因となります。汚れなどが付いた場合は、柔らかい布で拭いてください。油汚れが付いた場合は、薄めた中性洗剤をやわらかい布を浸して固く絞り、軽く拭き取ってください。

結露について

寒い場所から温かい場所へ急に移動し急激な温度変化を与えたり、本機を湿気の多い場所に置いたりすると、湿気が本体の表面や内部に結露することがあります。このまま電源を入れると故障の原因となりますので、本機の電源を入れずに放置し、結露を蒸発させてからご使用ください。

視聴時の注意

暗い場所で視聴したり、長時間にわたって画面を見続けたりすると、目の疲れや視力低下につながることがあります。暗所での視聴や長時間の視聴は避け、身体に不快感や痛みを覚えたときは視聴をやめて休息を取ってください。また、視聴時はスピーカーやヘッドホンの音量を上げすぎないように注意してください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

免責事項

補償について

何らかの不具合/故障などによって生じた、データやその他の損失、および直接的・間接的な損害について、弊社では一切の責任を負うことができません。本機を修理に出されたときも同様です。あらかじめご了承ください。

保証修理/交換

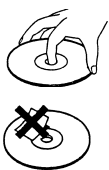
保証期間内であっても、取扱説明書や保証書、背面印刷などに記載されている注意事項に沿わない使い方をされたことが原因で故障や破損などが起きた場合、弊社では一切保証できませんので、あらかじめご了承ください。

お使いになる前に

ディスク使用上の注意

ディスクの取り扱い方

- ・ディスクを汚さないように、再生面には触れないでください。
- ・ディスクに紙やテープを貼らないでください。
- ・ディスクに直射日光や熱源を当てないでください。
- ・再生後はディスクケースに保管してください。



ディスクの掃除

再生前に、柔らかくして清潔な布でディスクの中心から放射状に拭いてください。



ディスクの絵表示について

この説明書では、下のようなマークで使用できる機能を表しています。

マーク	表示
	Blu-ray Discの機能
	DVDの機能
	CDの機能

用語の説明

タイトル

BD、DVDでは、映画本編と特典映像のように、異なる複数の内容が記録されていることがあります。

このような大きな区分けをタイトルといいます。

チャプター

各タイトルでは、一定の時間やシーンなどによって、さらに小さく内容を分けていることがあります。

このような小さな区分けをチャプターといいます。

トラック

CDに記録されている各曲のことを、便宜上、トラックということがあります。

CDDA

音楽CDのことを、他のデータCDなどと区別するためにCDDAということがあります。

MPEG-4

動画圧縮方式の一つで、高画質なまま映像データのファイルサイズを小さくすることができます。

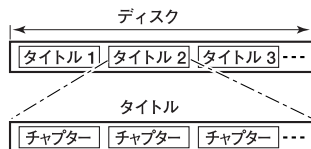
MP3

音声圧縮方式の一つで、高音質なまま音楽データのファイルサイズを小さくすることができます。

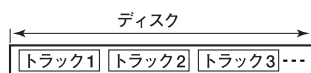
JPEG

静止画圧縮方式の一つで、デジタルカメラの写真やインターネット用の画像として、広く使われています。

BD、DVDの構造



CDの構造



本機で再生できるメディア

下の表のメディアが再生できます。

メディア	フォーマット
Blu-ray Disc (BD)	BD-ROM
	BD-R ^{※1}
	BD-RE ^{※2}
DVD	DVD-Video
	DVD-R/DVD-R DL (ビデオモード/VRモード ^{※3})
	DVD-RW (ビデオモード/VRモード ^{※3})
	DVD+R/DVD+R DL
	DVD+RW
	AVCHD
	データDVD
CD	音楽CD
	データCD
USB	USBマストレージ

※1 LTHディスクの再生にも対応しています(BD-R Ver.1.2の片面単層ディスクのみ確認)。

※2 BD-RE Ver.1.0のディスク(カートリッジに収納された初期型のディスク)の再生には対応していません。

※3 CPRMディスクの再生に対応しています。

次のメディアは本機では再生できません

※ HD DVD、DVDオーディオ、SACD、DVD-RAMなどのディスクには対応していません。

※ AVCREC方式で記録されたDVD-R/RWディスクには対応していません。

※ レコーダーで録画したDVDで、ファイナライズされていないディスクには対応していません。

※ コピーコントロールCDや、DVDとCDを組み合わせたDual Discなど特殊なディスクの再生は保証していません。

※ 記録された環境や記録状態、メディアの製造メーカーなどによっては再生できない場合があります。

本機で再生できるリージョンコード(地域番号)

BDおよびDVDのビデオソフト及びその再生機器には、地域ごとに割り当てられたリージョンコードが記録されています。

市販のビデオソフトは、再生機器のリージョンコードと一致していないと再生できません。

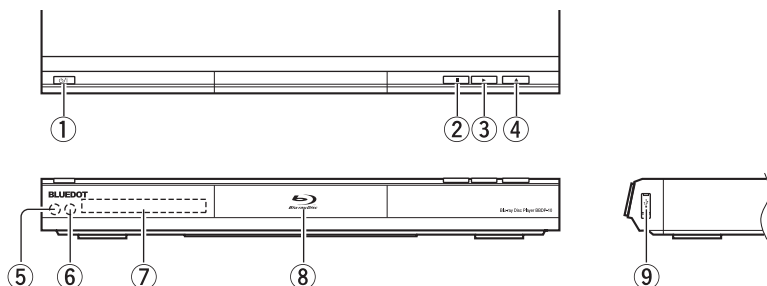
日本国内のリージョンコードはBDが“A”、DVDが“2”です。本機のリージョンコードもそれぞれ“A”、“2”に設定されており、ビデオソフトのケースなどに右のマークのあるディスクが再生できます。

※ DVDのリージョン“ALL”はリージョン“0”と表現されていることがあります。

ディスクの種類	再生できるリージョンコード
BD	 
DVD	 

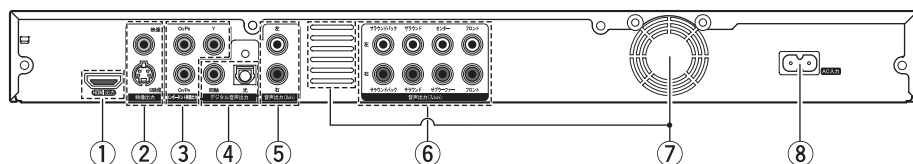
各部の名前

本体(正面/天面/右側面)



- ① 電源ボタン
- ④ 開/閉ボタン
- ⑦ 表示窓
- ② 停止ボタン
- ⑤ 待機ランプ
- ⑧ ディスクトレイ
- ③ 再生ボタン
- ⑥ リモコン受光部
- ⑨ USB端子

本体(背面)

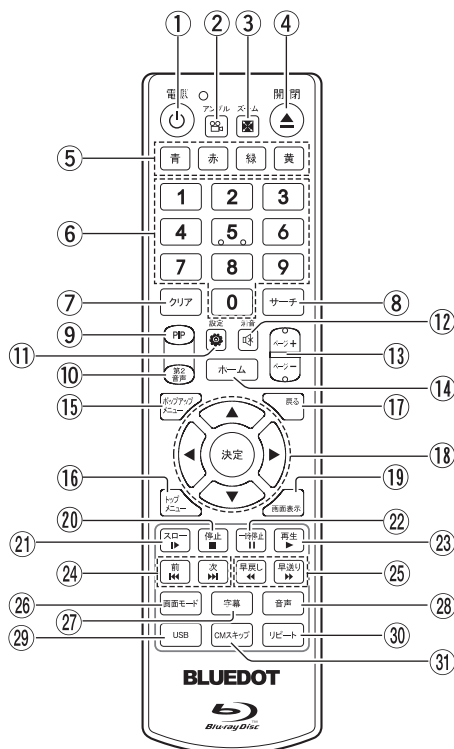


- ① HDMI出力端子
- ⑤ 音声出力(2ch)端子
- ② 映像出力端子
- ⑥ 音声出力(7.1ch)端子
- ③ コンポーネント映像出力端子
- ⑦ 排気口
- ④ デジタル音声出力端子
- ⑧ AC入力端子

表示窓

- ① DVDの再生中に点灯します。
 - ② 再生/一時停止を表示します。
 - ③ サラウンド音声の種類を示します。
 - ④ MP3データの再生中に点灯します。
 - ⑤ MPEG-4データの再生中に点灯します。
 - ⑥ ディスクのロード状態を示します。
 - ⑦ リピートの状態を示します。
 - ⑧ ディスクの種類や時間、プレーヤーの状態など様々な情報を表示します。

リモコン



- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ① 電源ボタン | ①⑦ 戻るボタン |
| ② アングルボタン | ①⑧ 上/下/左/右/決定ボタン |
| ③ ズームボタン | ①⑨ 画面表示ボタン |
| ④ 開/閉ボタン | ②⑩ 停止ボタン |
| ⑤ カラー(青/赤/緑/黄)ボタン | ②⑪ スローボタン |
| ⑥ 数字(0~9)ボタン | ②⑫ 一時停止ボタン |
| ⑦ クリアボタン | ②⑬ 再生ボタン |
| ⑧ サーチボタン | ②⑭ スキップ(前/次)ボタン |
| ⑨ PIP(ピクチャー・イン・ピクチャー)ボタン | ②⑮ サーチ(早戻し/早送り)ボタン |
| ⑩ 第2音声ボタン | ②⑯ 画面モードボタン |
| ⑪ 設定ボタン | ②⑰ 字幕ボタン |
| ⑫ 消音ボタン | ②⑱ 音声ボタン |
| ⑬ ページ送り(ページ+/-)ボタン | ②⑲ USBボタン |
| ⑭ ホームボタン | ③⑰ リピートボタン |
| ⑮ ポップアップメニューボタン | ③⑱ CMスキップボタン |
| ⑯ トップメニューボタン | |

テレビと接続する

⚠ 電源ケーブルは全ての接続が終了してから最後に接続してください。

接続の種類

本機には4種類の映像出力端子があります。お手持ちのテレビが備える映像入力端子に合わせて接続方法をお選びください。Blu-ray Disc (BD) の高画質・高精細な映像を余すことなくお楽しみいただくためには、HDMIケーブルの利用をおすすめします。

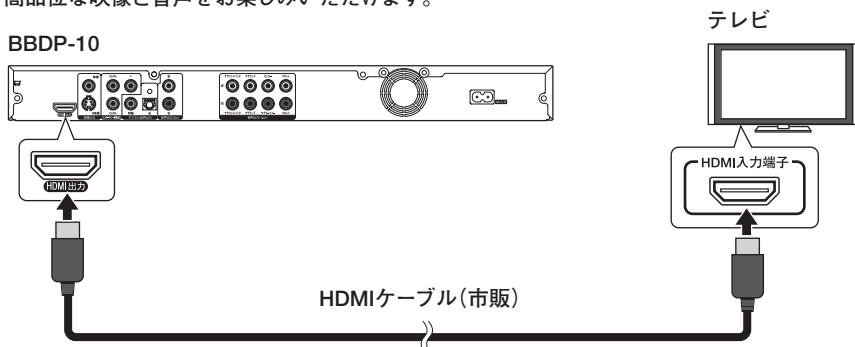
端子名	使用するケーブル	画質・精細度
HDMI端子 推奨	HDMIケーブル (市販) 	高画質 高精細 ハイビジョン画質 (デジタル)
コンポーネント映像端子※	コンポーネント映像ケーブル (市販) 	低画質 低精細 ハイビジョン画質 (アナログ)
S 映像端子	S 映像ケーブル (市販) 	標準テレビ画質
映像端子	映像・音声ケーブル (付属) 	標準テレビ画質

※ 市販の「コンポーネント映像端子→D端子変換ケーブル」をご使用になると、D1/D2/D3/D4端子を備えたテレビにも接続できます。
(後述の「コンポーネント映像ケーブルを使う」を参照)



HDMIケーブルを使う

HDMIケーブル (市販) を使えば、1本のケーブルで映像と音声を接続できます。また、デジタル信号で伝送するため、高品位な映像と音声をお楽しみいただけます。



- ◆ 1080p対応テレビをご使用の場合は画面解像度を1080pに設定変更することをおすすめします。(30ページの「設定を変更する」を参照)
- ◆ HDMI端子をDVI端子に変換し、表示機器に接続された場合の保証はいたしておりません。
- ◆ 本機はDeep Colorには対応していません。

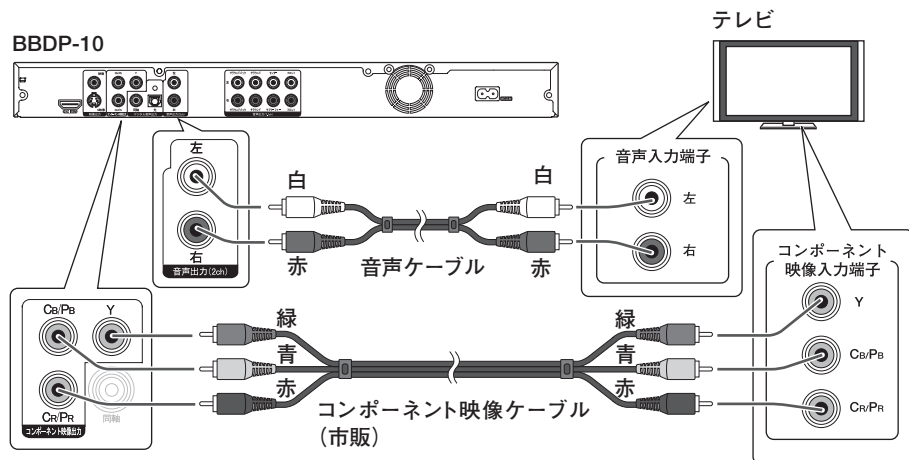


1080p24モード (BDに記録されているフルハイビジョン、24コマ/秒の映像をダイレクトに出力するモード) を使用される場合、本機とテレビがHDMIケーブルで接続されている必要があります。また、お手持ちのBDディスクおよびテレビが1080p24に対応している必要がありますのでご注意ください。

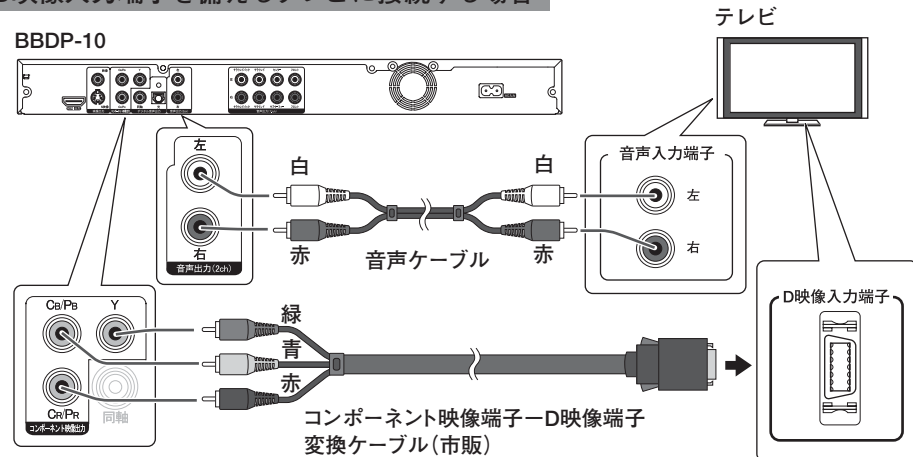
コンポーネント映像ケーブルを使う

コンポーネント映像ケーブル(市販)は、映像信号を「緑(Y:輝度)」「青(Cb/Pb:青の色差)」「赤(Cr/Pr:赤の色差)」の3本のケーブルに分けて伝送するもので、高品位なハイビジョン映像を楽しむことができます。音声ケーブルは別に接続する必要があります。

コンポーネント映像入力端子を備えるテレビに接続する場合



D映像入力端子を備えるテレビに接続する場合



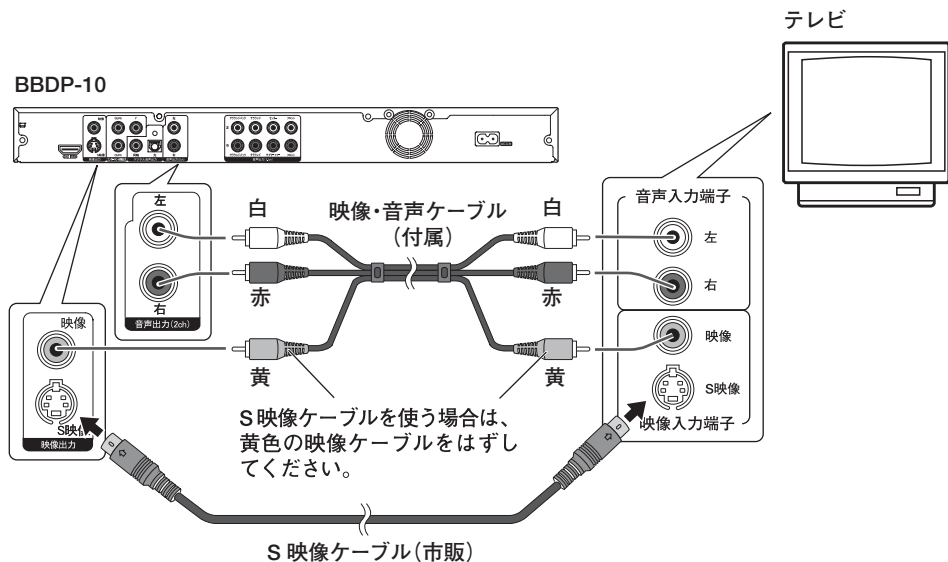
◆ 画面解像度が適切に設定されているかご確認ください(30ページの「設定を変更する」を参照)。



コンポーネント映像ケーブルでテレビと接続している場合、画面解像度をハイビジョン(720pや1080i)に設定しても、制作者の意図によりDVD再生時に解像度が低下する場合があります。

S映像または映像ケーブルを使う

S映像ケーブル(市販)または映像・音声ケーブル(付属)を使う場合は次のように接続します。S映像ケーブルを使えば、付属の映像・音声ケーブルよりも高品位な映像をお楽しみいただけます。



テレビと接続する場合の注意

- ◆ コンポーネント映像ケーブルやS映像ケーブル、付属の映像・音声ケーブルで接続する場合、本機とテレビを直接接続してください。録画機などを經由して接続するとコピーガードが働き、正常に表示できない場合があります。
- ◆ 設定変更などで画面が映らなくなった場合は一度電源を切り、付属の映像・音声ケーブルを使ってテレビと接続した状態で画面が表示されるかご確認ください。画面が表示されたら画面設定が正しいか設定メニューでご確認ください(30ページの「設定を変更する」を参照)。

外部の音響機器と接続する

⚠ 電源ケーブルは全ての接続が終了してから最後に接続してください。

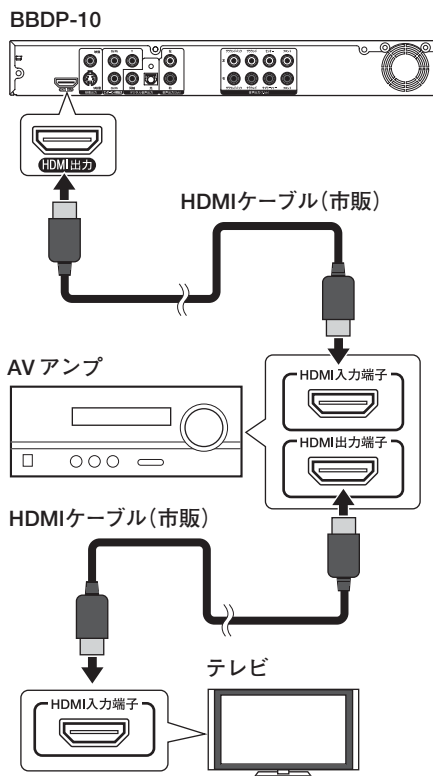
AVアンプと接続してサラウンド音声を楽しむ

本機のHDMI出力端子やデジタル音声出力端子、7.1チャンネルのアナログ音声出力端子をAVアンプに接続してサラウンド音声を楽しむことができます。接続する際には、AVアンプの電源をお切りください。なお、接続の詳しい方法についてはAVアンプの取扱説明書をご参照ください。

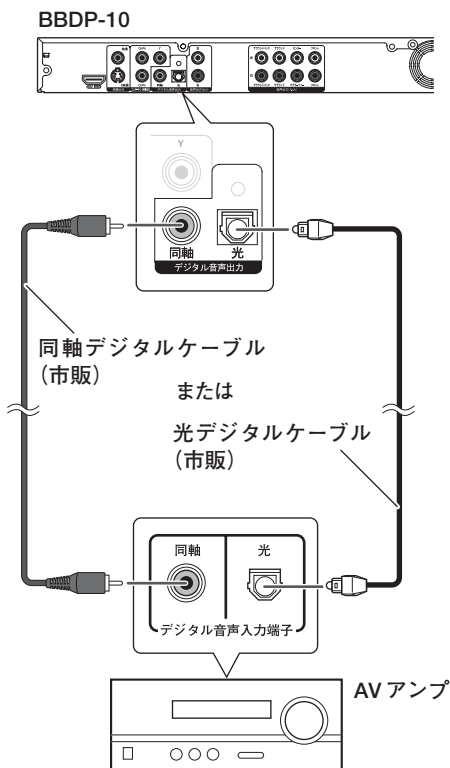


7.1チャンネルのサラウンド音声を楽しむには、お手持ちのBDディスクおよびAVアンプ、スピーカーシステムが7.1チャンネルサラウンドに対応している必要があります。また、使用する音声出力端子の種類によって出力可能なチャンネル数や音声フォーマットが異なります（詳しくは34ページの「音声出力について」参照）。

HDMIケーブルで接続する



光/同軸デジタル音声ケーブルで接続する

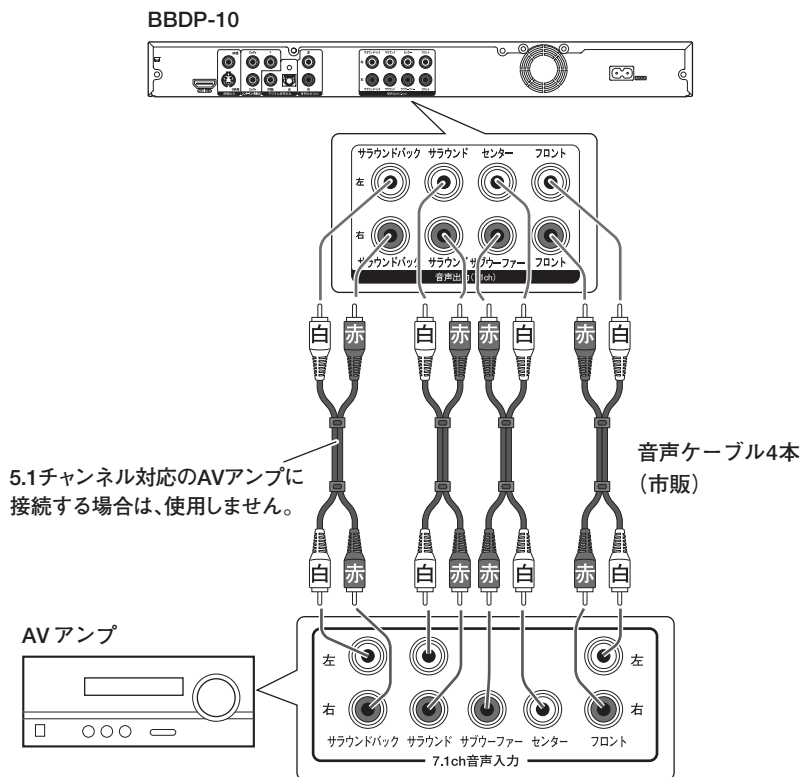


◆ 出力する音声フォーマットを「リニアPCM」と「ビットストリーム」からお選びいただけます（31ページの「設定を変更する」を参照）。

◆ 同軸デジタルケーブルと光デジタルケーブルはどちらか一方を接続してください。

◆ 出力する音声フォーマットを「リニアPCM」と「ビットストリーム」からお選びいただけます（31ページの「設定を変更する」を参照）。

7.1チャンネル(または5.1チャンネル)のアナログ音声ケーブルで接続する



- ◆ 音声端子の名称が本機とAVアンプで一致しない場合は、32ページのスピーカーの配置図を参考に対応付けしてください。

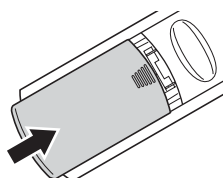
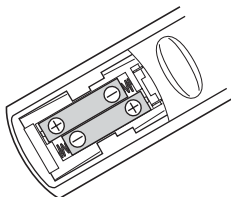
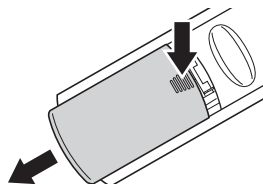
再生の準備

リモコンの準備

電池を入れる

工場出荷時にはリモコンに電池が入っていません。次の手順で付属の乾電池(2個)を入れてください。電池を交換するときも、次の手順で交換してください。

1. 電池カバーを外す
2. 電池を入れる
3. カバーを元に戻す

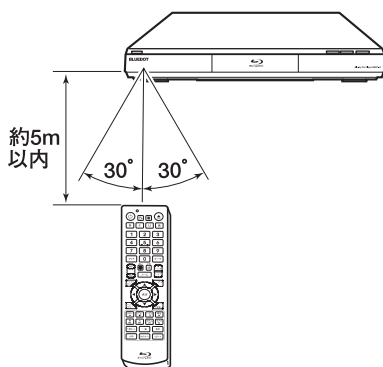


◆ 電池を交換するときは「単4マンガン電池」をご使用ください。



新旧の電池や種類の違う電池を混ぜないでください。

リモコンの操作範囲



- ◆ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて、図の範囲で操作してください。
- ◆ ボタンを押しても動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- ◆ リモコンからの信号が出ているかどうかは、リモコンの電源ボタン右側の赤色ランプで確認できます。

赤色ランプ



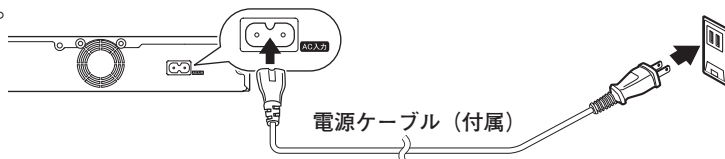
- ◆ リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておいてください。



リモコン受光部に直射日光が当たったり、インバーター式の蛍光灯の近くで使用すると誤動作をすることがあります。この場合は位置を変えてください。

電源の準備

すべての接続が終了し、プレーヤーを所定の位置に設置してから、電源ケーブルを接続してください。電源を入れた後に接続や設置を行うと、振動や衝撃などにより故障の原因となる場合があります。



- ◆ 電源をコンセントに差し込むと、自動的に本機の電源がオンになります。
- ◆ 本機は交流100V～240Vに対応しております。指定の電圧以外では使わないでください。なお、保証対象は日本国内での交流100V使用のみとなります。

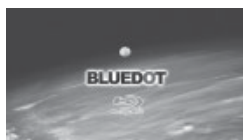
電源をオンにする

1. テレビの電源を入れて、所定のビデオ入力に切り換える。
2. リモコンまたは本機の電源ボタンを押す。

本体



リモコン



テレビに起動画面(この画面)が、本機表示窓には“LOAD”が表示されます。起動するまでに約1分必要です。



テレビ画面が背景画像(上の画像)に切り換わり、本機表示窓から“LOAD”の文字が消えると、ご使用いただけます。

- ◆ ディスクが挿入されている場合、自動的に再生が始まります。再生準備中に取り出しを指示した場合、ディスクが取り出されるまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。



起動中や再生準備中に何度も操作ボタンを押すと、誤動作の原因になりますのでおやめください。

電源をオフにする

リモコンまたは本機の電源ボタンを押す。

本機表示窓に“BYE”と表示されて待機モードに切り換わります。

本体



リモコン



- ◆ 表示窓左側の待機ランプが点灯します。
- ◆ 長期間使用しない場合は、コンセントを抜いてください。

基本的な使いかた

ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

ディスクをセットする

1. 電源をオンにする。

19ページを参照して電源をオンにします。

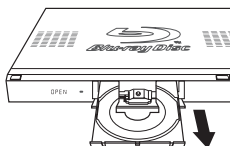
電源



2. 操作できる状態になったら開/閉ボタンを押す。

本機表示窓に“OPEN”と表示されます。しばらくするとディスクトレイが引き出されます。

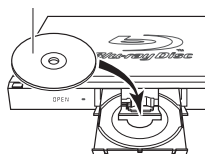
開/閉



3. ディスクをセットする。

ディスクのラベル面を上にして、トレイの溝にきっちりとおさめるようにセットします。

ラベル面



4. 開/閉ボタンを押して、ディスクトレイを格納する。

ディスクが本機に格納されて自動的に再生が始まります。

開/閉



再生を始める

再生(▶)ボタンを押す。



◆ BD、DVDによってはメニュー画面が表示されます。画面の指示にしたがってください。

停止する

停止(■)ボタンを押す。



◆ 停止後に再生(▶)ボタンを押すと、停止した位置から通常再生を開始します。

◆ 完全に停止する場合は一度停止(■)ボタンを押し、画面の指示に従って再度停止(■)ボタンを押します。

※ 制作者の意図により続きからの再生が禁止されている場合があります。

※ 電源をオフにしたり、ディスクを取り出したりとすると続きからの再生はできません。
音楽CDは続きからの再生はできません。

一時停止する

ステップ再生(コマ送り)をする

一時停止(⏸)ボタンを押す。



◆ 再生中に一時停止(⏸)ボタンを1回押すと一時停止します。

◆ BD、DVD再生中は一時停止(⏸)ボタンを押すごとにステップ再生(コマ送り)になります。

◆ 通常再生に戻る場合は再生(▶)ボタンを押します。

操作上の注意

本体内の処理の関係上、ボタン操作がプレーヤーの動作に反映されるまでに若干の間隔を生じますが故障ではありません。

ボタンを連打いたしますと誤動作の原因になりますのでおやめください。

ディスクの取り出しについて

ディスクの読み込み中や再生中に**開/閉**ボタンを押してディスクの取り出しを指示した場合、終了処理により数十秒から数分間お待ちいただくことがあります。その間にボタン操作を行うと誤動作の原因になりますので処理が終了するまでお待ちください。

制作者による操作禁止について

BDやDVDでは、制作者の意図により、シーンによって操作が禁止されていることがあります。その場合は「この操作はできません」と表示されます。

無効な操作について

リモコンのボタン操作が不適切な場合やその機能を使えない場合、「無効な操作です」と表示されます。

いろいろな再生をする

ここではリモコン操作を中心に記載してあります。
同じ名前のボタンは本体でも同じ操作ができます。

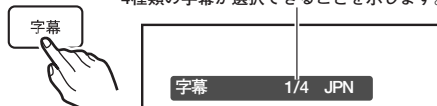
字幕を切り換える

ディスクに複数の字幕が記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

字幕ボタンを押す。

押すごとに、字幕が切り換わります。

4種類の字幕が選択できることを示します。



- ◆ 字幕を表示させたくないときはオフを選択します。
- ◆ 字幕が記録されていないディスクでは、切り換え操作はできません。

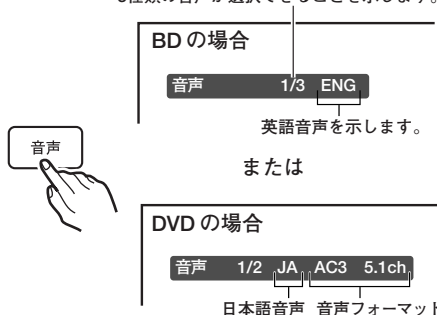
音声を切り換える

ディスクに複数の音声記録されているときは、リモコンボタンで切り換えることができます。

音声ボタンを押す。

押すごとに、音声切り換わります。

3種類の音声を選択できることを示します。



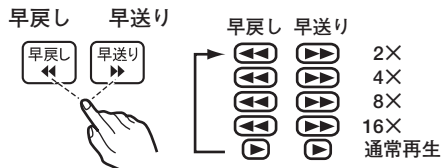
- ◆ 音声1つしか記録されていないディスクでは、切り換え操作はできません。

サーチ(高速再生)

ディスクを高速再生して希望の場所を探すことができます。

サーチ(◀◀/▶▶)ボタンを押す。

押すごとに、再生速度が変わります。



- ◆ サーチ中に再生(▶)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

スキップ(飛び越し)

ディスクのチャプターやトラックを、飛び越したり出だしに戻ったりすることができます。

スキップ(◀◀/▶▶)ボタンを押す。

▶▶ ボタンを押す

押すごとに、次のチャプターまたはトラックに飛び越して再生を始めます。



- ◆ 録画したBD-R/REでは次のタイトルに飛び越します。

◀◀ ボタンを押す

1回押すと、再生中のチャプターの出だしに戻ります。その後は押すごとに、前のチャプターの出だしに戻って再生を始めます。



- ◆ 録画したBD-R/REでは前のタイトルの出だしに戻ります。
- ◆ CDの場合は押すごとに前のトラックの出だしに戻ります。



録画した放送に多重されている字幕は表示できません。
録画した放送に複数の映像や音声が多重的に記録されていても本機では切り換えることができません。

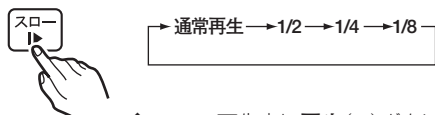
いろいろな再生をする(続き)

スロー再生(低速再生)

ディスクを低速再生することができます。

スローボタンを押す。

押すごとに、再生速度が変わります。



- ◆ スロー再生中に再生(▶)ボタンを押すと通常再生に戻ります。

CMスキップ

約27秒先に飛び越すことができます。

CMスキップボタンを押す。

押すごとに、約27秒先に飛び越します。

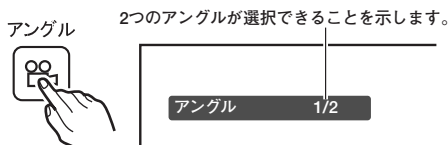


- ◆ CMが1分以上続くときはスキップを繰り返します。

アングルを切り換える

アングルボタンを押す。

複数のアングルが収録されている場合、押すごとにアングルを切り換えます。



- ◆ アングルが1つしか記録されていないディスクでは、切り換え操作はできません。

BD/DVDのメニュー再生

ディスクにメニュー画面が記録されているときは、次のようにして表示することができます。

トップメニューを表示する

1. 再生中にトップメニューボタンを押す。



- ◆ トップメニュー画面が記録されているときでも、一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。

2. 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)や決定ボタンでメニューの内容を選ぶ

- ◆ 操作方法はディスクによって異なります。詳しくはソフトの説明書などをご参照ください。

ルートメニューを表示する

1. 再生中にホームボタンを押す。



- ◆ ルートメニュー画面が記録されているときでも、一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。

2. 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)や決定ボタンでメニューの内容を選ぶ

- ◆ 操作方法はディスクによって異なります。詳しくはソフトの説明書などをご参照ください。

いろいろな再生をする(続き)

リピート再生(繰り返し)

ディスク全体やタイトル、トラックなどを繰り返し再生することができます。

チャプター : 再生中のチャプターを繰り返します。

タイトル : 再生中のタイトルを繰り返します。

トラック : 再生中のトラックを繰り返します。

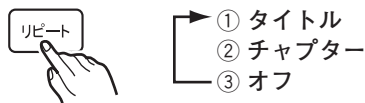
ディスク : ディスク全体を繰り返します。

ランダム : トラックを順不同に再生し続けます。

リピートボタンを押す。

押すごとに、リピートモードが切り換わります。

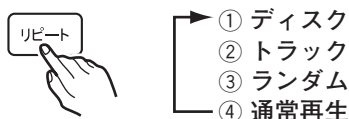
BD、DVD再生時



◆ ディスクまたはシーンによっては、上記操作が禁止されている場合があります。

◆ ディスクの種類によってはタイトルリピートのオン/オフのみになります。

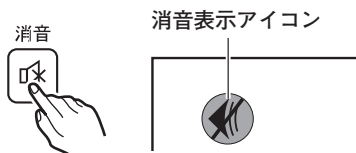
CD再生時



消音(ミュート)にする

音声を一時的に消すことができます。

消音ボタンを押す。



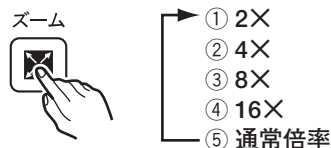
◆ 消音ボタンをもう一度押すと、元の音量に戻ります。

ズーム再生

映像を拡大することができます。

ズームボタンを押す。

押すごとに、ズーム倍率が変わります。



◆ 拡大表示のとき、方向ボタン(▲/▼/◀/▶)を押すと、表示位置を移動することができます。

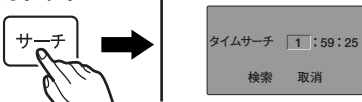
◆ ズームボタンを繰り返し押してオフにすると、通常再生に戻ります。戻るボタンでも解除できます。

◆ ディスクまたはシーンによっては、上記操作が禁止されている場合があります。

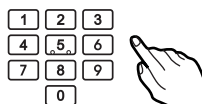
タイムサーチ機能

タイトルやトラックの先頭からの時間を指定して再生を始めることができます。

1. ディスク再生中にサーチボタンを押す。



2. 数字ボタンで先頭からの時間を入力する。



(例) 1時間59分25秒を指定

- ① 「1」を入力して右(▶)ボタンを押す。
- ② 「5」「9」と続けて入力して右(▶)ボタンを押す。
- ③ 「2」「5」と続けて入力して右(▶)ボタンを押す。
- ④ 「検索」で決定ボタンを押す。

◆ 左(◀)ボタンでカーソルを戻して修正できます。

◆ 「取消」で決定ボタンを押すと元の画面に戻ります。

◆ 収録時間より長い数字は受け付けません。

◆ ディスクまたはシーンによっては、上記操作が禁止されている場合があります。

BD-ROM特有の操作

映画などを収めたBlu-ray Discのビデオソフト(いわゆるBD-ROM)では、DVDにない新たな機能を利用することができます。

BONUS VIEWの機能を使う

本機はBD-ROM Profile Ver. 1.1に対応しており、第2映像(ピクチャーインピクチャー)や第2音声(セカンダリーオーディオ)といった「BONUS VIEW」機能を楽しむことができます。

PIPボタンを押す。

第2映像に切り換えることができます。



- ◆ 複数の映像が収録されている場合、ボタンを押すごとに映像が切り替わります。
- ◆ 制作者の意図により、ボタンで直接切り換えられない場合があります。その場合はメニュー画面から切り換えてください。

第2音声ボタンを押す。

第2音声に切り換えることができます。



- ◆ 複数の音声 that 収録されている場合、ボタンを押すごとに音声切り替わります。
- ◆ 制作者の意図により、ボタンで直接切り換えられない場合があります。その場合はメニュー画面から切り換えてください。



BONUS VIEW機能を楽しむためには、BD-ROM側にBONUS VIEWのコンテンツが収録されている必要があります。

カラーボタンを使う

BD-ROMのメニュー操作でカラーボタンを使うことができます。

カラーボタン(青/赤/緑/黄)を押す。



- ◆ どの色のボタンが、どの操作に対応しているかはディスクにより異なります。メニューの案内に従ってください。

ポップアップメニューを使う

BD-ROM再生中にポップアップメニューを表示し、メニュー操作を行うことができます。

ポップアップメニューボタンを押す。



- ◆ 通常のメニュー操作と同様に、方向ボタン(▲/▼/◀/▶)や決定ボタンでメニューの内容を選びます。
- ◆ 再度ポップアップメニューボタンを押すと、再生画面に戻ります。
- ◆ 一定のシーンで操作が禁止されている場合があります。
- ◆ 操作方法はディスクによって異なります。詳しくはソフトの説明書などをご参照ください。

録画ディスクの操作

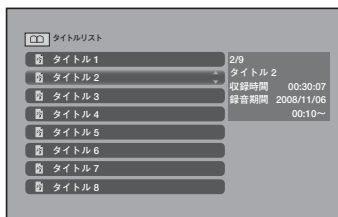
レコーダーで録画したBD-R/RE (BD-AV形式) やVRモードで録画したDVD-R/RWではタイトルリストを表示して、再生するタイトルを選択することができます。

タイトルリストを表示する

1. ディスク再生中にポップアップメニューボタンを押す。



タイトルリストが表示されます。



2. 上下方向ボタン(▲/▼)で再生したいタイトルにカーソルを合わせる。

◆ タイトルが1画面に収まらない場合は、ページ+/-ボタンで次のページ/前のページに移動することができます。

3. 決定ボタンを押す。

選択したタイトルの再生が始まります。

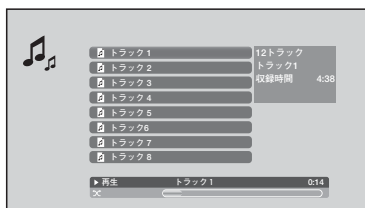
◆ ビデオモード (DVD-Video形式) で録画したDVD-R/RWディスクでは、このタイトルリストは表示されません。操作方法は通常のDVD-Videoディスクと同じになります。

音楽CDの操作

音楽CDを再生する場合、トラックリストから方向ボタンを使って曲を選択して再生したり、直接トラック番号を入力して再生できます。

トラックを選んで再生する

音楽CDを挿入するとディスクに収録されているトラックのリストが表示され、自動的に再生が始まります。



1. 上下方向ボタン(▲/▼)で再生したいトラックにカーソルを合わせる。

◆ トラックが1画面に収まらない場合は、ページ+/-ボタンで次のページ/前のページに移動することができます。

2. 決定ボタンを押す。

選択したトラックの再生が始まります。

数字ボタンで直接選択する

1. 数字ボタンで好きなトラックを選ぶ。



(例)

トラック3を指定→「3」を押す。

トラック10を指定→「1」「0」の順に押す。

トラック25を指定→「2」「5」の順に押す。

入力した番号が画面に表示されます。

2. 決定ボタンを押す。

指定したトラックから再生が始まります。

◆ ディスクに記録されているトラック数以上の数字は受け付けません。

その他の機能

再生中の映像情報を表示する

画面表示ボタンを押す。

再生中の映像の各種情報が表示されます。



ディスクの種類		タイトル数
再生の状態	映像の種類	経過時間
▶ 再生	HDMV	00:00:27
BD-ROM	タイトル	1/2
	チャプター	12/35
音声ストリーム	TrueHD	ビットレート
		28.12 Mbp
音声の種類	現在のビットレート	チャプター数

- ◆ 画面表示ボタンをもう一度押すと情報画面が消えます。
- ◆ 再生中のディスクの種類により表示される内容は変わります。

画面モードを切り換える

ディスクが完全に停止している状態で、画面モードボタンを押す。

押すごとに画面モードが切り換わります。



画面モード 720p

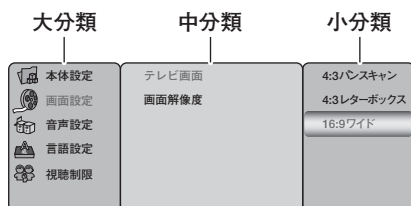


HDMI端子またはコンポーネント映像端子でテレビに接続している場合のみ有効です。S映像または映像端子をご利用の場合、切り換えの表示は出ますが、実際の画面モードは変化しません。

設定を変更する

設定メニューの操作

設定メニュー画面の例

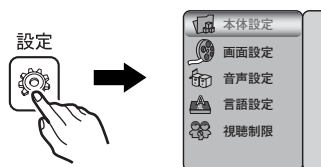


画面の縦横比が16:9のワイドテレビ

各項目の説明

1. ディスクが完全に停止している状態で、設定ボタンを押す。

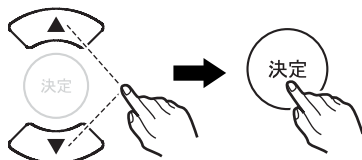
大分類の設定メニューが表示されます。



- ◆ ディスクの再生中に設定ボタンを押した場合、設定メニューに入るか再度確認を求められます。設定メニューに移行する場合は、画面の案内に従って再度設定ボタンを押してください。この場合、再生は完全に停止し、再び再生を始めた場合はディスクの出だしに戻ります。

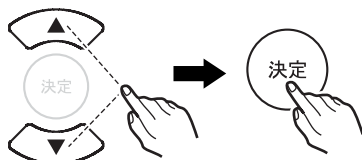
2. 上下方向ボタン(▲/▼)で設定を変更したい項目を選び、決定ボタンまたは右ボタン(▶)を押す。

選択した項目の中分類のメニューが表示されます。

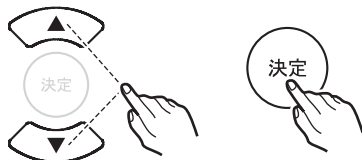


3. 上下方向ボタン(▲/▼)で設定を変更したい項目を選び、決定ボタンまたは右ボタン(▶)を押す。

選択した項目の小分類のメニューが表示されます。



4. 各設定メニューの案内に従って方向ボタン(▲/▼/◀/▶)や決定ボタンで設定を変更したり、処理を実行する。



- ◆ 視聴制限の設定ではパスワードの入力を求められることがあります。その場合は数字ボタンを使ってパスワードを入力してください。工場出荷時のパスワードは“00000”です。

5. 設定が終わったら、設定ボタンを押して設定メニューを閉じる。



- ◆ 設定項目によっては閉じる操作を必要としない場合があります。

設定内容の説明

本機では、テレビや音声の出力方法など、様々な設定がされています。
これらの初期設定値を、お使いの接続機器などに合わせて変更することができます。
設定内容は次のようになっています。(で囲まれた項目が工場出荷時に設定されています。)

スクリーンセーバー

操作しない状態がしばらく続いた場合、スクリーンセーバーを起動してテレビ画面を保護できます。再生停止または一時停止の状態が10分以上続いた場合、スクリーンセーバーに切り替えます。

オフ:

スクリーンセーバーを無効にします。

オン:

スクリーンセーバーを有効にします。

※ スクリーンセーバーを起動した状態が約20分続くと、自動的に待機状態になります。

※ 本機の状態によっては、スクリーンセーバーが起動しません。

設定の初期化

※通常は使用しません。

工場出荷時の設定に戻します。

設定を初期化するには、「よろしいですか?」との問いかけで決定ボタンを押してください。

ファームウェアの更新

※通常は使用しません。

本機に内蔵されている動作ソフトウェア(ファームウェア)を更新する場合に使用します。

CD-ROM:

ファームウェア更新用のCDを使ってアップデートを行います。

USB:

ファームウェア更新用のUSBメモリーを使ってアップデートを行います。

更新の有無や更新手順、更新に必要な環境などの情報は弊社ホームページ(<http://www.bluedot.co.jp>)をご確認ください。

※ ファームウェアの更新に失敗すると本機が動作不能になる可能性があります。更新手順をよくお確かめになり、指示に従って作業を行ってください。

バージョン番号

※通常は使用しません。

ファームウェアのバージョン番号を確認することができます。表示するには「表示」の案内で決定ボタンを押してください。

ローカルストレージ

Blu-ray Disc (BD) ではディスクの種類により、本機に内蔵されているメモリー(ローカルストレージ)にデータを記録する場合があります。このデータを消去したり、ローカルストレージを初期化することができます。

データ消去:

BD- Javaの使用時に記録されたデータを消去します。ローカルストレージのデータが一杯になった場合に使用します。

フォーマット:

ローカルストレージが原因で異常な動作が発生した場合、ローカルストレージを初期化(フォーマット)します。

テレビ画面

テレビ画面の縦横比と映像の表示方法を設定します。

4:3(バンスキャン):

画面の縦横比が4:3の従来型テレビに接続した場合に選択します。
ワイドスクリーンの映像を再生した場合は、左右がカットされます。



4:3(レターボックス):

画面の縦横比が4:3の従来型テレビに接続した場合に選択します。
ワイドスクリーンの映像を再生した場合は、上下に黒い帯が表示されます。



16:9(ワイド):

画面の縦横比が16:9のワイドテレビに接続した場合に選択します。



画面解像度

テレビに画面を出力する際の解像度を設定します。

720p:

1280×720画素の順次走査(プログレッシブスキャン)で出力します。

1080i:

1920×1080画素の飛び越し走査(インタレーススキャン)で出力します。

1080p:

1920×1080画素の順次走査(プログレッシブスキャン)で出力します。

1080p24:

1920×1080画素、24コマ/秒の順次走査(プログレッシブスキャン)で出力します。



注意

1080p24モード(BDに記録されているハイビジョン、24コマ/秒の映像をダイレクトに出力するモード)を使用される場合、本機とテレビがHDMIケーブルで接続されている必要があります。また、お手持ちのBDディスクおよびテレビが1080p24に対応している必要がありますのでご注意ください。

- ◆ 映像出力端子の仕様上の制限により、各設定に対する実際の出力解像度が異なる場合があります。下表をご参照ください。また制作者の意図により、下表と異なる解像度になる場合があります。

Blu-ray Discの場合

設定	HDMI	コンポーネント	S映像/映像
1080p	1080p、60コマ/秒	1080i	480i
1080p24	1080p、24コマ/秒	1080i	480i
1080i	1080i	1080i	480i
720p	720p	720p	480i

DVDの場合

設定	HDMI	コンポーネント	S映像/映像
1080p	1080p、60コマ/秒	1080i	480i
1080i	1080i	1080i	480i
720p	720p	720p	480i

デジタル出力

デジタル音声を出力する端子と出力形式を選択します。

光/同軸端子 デジタル音声データを光または同軸端子から出力します。

この際、音声形式を選択します。

リニアPCM：

リニアPCMに変換して出力します。

ビットストリーム：

デジタル音声データをビットストリームのまま出力します。

HDMI端子 デジタル音声データをHDMI端子から出力します。

この際、音声形式を選択します。

リニアPCM：

リニアPCMに変換して出力します。

ビットストリーム：

デジタル音声データをビットストリームのまま出力します。

※光/同軸端子は、7.1チャンネル音声に対応できません。

PCMダウンサンプリング

PCM音声のサンプリング周波数を48kHzにダウンサンプリングできます。96kHzに対応できないAVアンプなどをお持ちの場合に利用ください。

オン：

PCMダウンサンプリングをオンにします。

オフ：

PCMダウンサンプリングをオフにします。

ダイナミックレンジ制御

ダイナミックレンジを圧縮して小さな音声を聞きやすくします。Dolby Digitalの音声にのみ有効です。

オン：

ダイナミックレンジ制御をオンにします。

オフ：

ダイナミックレンジ制御をオフにします。

スピーカー

本機では最大7.1チャンネルの音声出力が可能です。ここでは各スピーカーの設定をします。

センター:

センタースピーカーまでの距離(メートル)や出力の **オン** / オフを設定します。

フロント左右:

フロントスピーカー(左右)までの各距離(メートル)や出力の **オン** / オフを設定します。

サラウンド左右:

サラウンドスピーカー(左右)までの各距離(メートル)や出力の **オン** / オフを設定します。

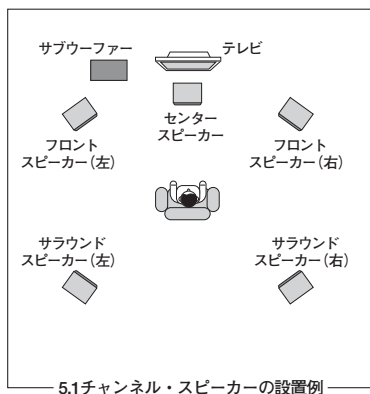
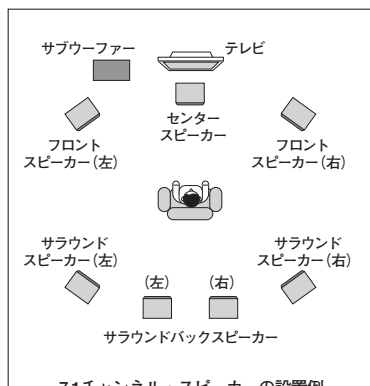
バック左右:

サラウンドバックスピーカー(左右)までの各距離(メートル)や出力の **オン** / オフを設定します。

サブウーファー:

サブウーファーの出力の **オン** / オフを設定します。

※サラウンドバックスピーカーは7.1チャンネル音声でのみ使用します。



テストトーン出力

※7.1チャンネル・アナログ音声出力の確認に使用します。

スピーカーごとにテストトーンを出力できます。

センター:

センタースピーカーからテストトーンを出力します。

フロント左右:

フロントスピーカー(左右)からテストトーンを出力します。

サラウンド左右:

サラウンドスピーカー(左右)からテストトーンを出力します。

バック左右:

サラウンドバックスピーカー(左右)からテストトーンを出力します。

サブウーファー:

サブウーファーからテストトーンを出力します。

46ページの表を参考にして言語コードを入力してください。

※ ビデオソフトのパッケージにR指定の記述があっても、ディスクに制限が施されているとは限りません。

音声出力について

ディスクに記録されている音声フォーマットや音声出力に使う端子の種類/本機の設定により、各端子から出力される音声が変わります。

音声フォーマット	HDMI出力*		光/同軸デジタル音声出力*	
	ビットストリーム	リニアPCM	ビットストリーム	リニアPCM
Dolby	パススルー	最大5.1ch (48kHz)	パススルー	ダウンミックス2ch
Dolby Digital Plus	パススルー	最大7.1ch (48kHz)	パススルー (Dolby Digital)	ダウンミックス2ch
Dolby Digital TrueHD	パススルー	最大7.1ch (48kHz/96kHz) 最大2ch (192kHz)	パススルー (Dolby Digital)	ダウンミックス2ch
DTS Digital Surround	パススルー	最大5.1ch (48kHz)	パススルー	ダウンミックス2ch
DTS-HD High-Resolution Audio	パススルー	最大7.1ch (48kHz) 最大5.1ch (96kHz)	パススルー (DTS Digital Surround)	ダウンミックス2ch
DTS-HD Master Audio	パススルー	DTS Digital Surround	パススルー (DTS Digital Surround)	ダウンミックス2ch
MPEG-2 AAC	パススルー	最大5.1ch (48kHz)	最大2ch	ダウンミックス2ch
MP3	パススルー	2ch (16kHz～48kHz)	パススルー	2ch (16kHz～48kHz)
リニアPCM	パススルー	最大7.1ch (48kHz/96kHz) 最大5.1ch (192kHz)	最大2ch	ダウンミックス2ch

* 接続先に対応デコーダーが内蔵されている必要があります。

** 光/同軸デジタル音声出力の設定を「ビットストリーム」にしている場合、最大5.1chのDolby Digital音声で出力されます。

アナログ音声出力 (2ch)	アナログ音声出力 (7.1ch)	音声フォーマット
ダウンミックス2ch	最大5.1ch (48kHz)	Dolby
ダウンミックス2ch	最大7.1ch (48kHz)	Dolby Digital Plus
ダウンミックス2ch	最大7.1ch (48kHz/96kHz)** 最大2ch (192kHz)	Dolby Digital TrueHD
ダウンミックス2ch	最大5.1ch (48kHz)	DTS Digital Surround
ダウンミックス2ch	最大7.1ch (48kHz) 最大5.1ch (96kHz)	DTS-HD High-Resolution Audio
ダウンミックス2ch	DTS Digital Surround	DTS-HD Master Audio
ダウンミックス2ch	最大5.1ch (48kHz)	MPEG-2 AAC
2ch (16kHz～48kHz)	2ch (16kHz～48kHz)	MP3
ダウンミックス2ch	最大7.1ch (48kHz/96kHz) 最大5.1ch (192kHz)	リニアPCM

動画/音楽/写真のデータを再生する

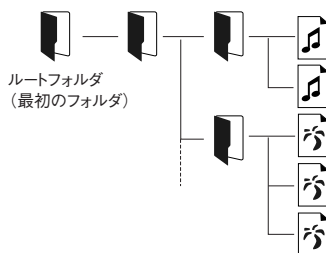
本機では、パソコンなどで作成したMPEG-4形式の動画ファイルや高音質なままファイルサイズを小さくできるMP3形式の音楽ファイル、デジタルカメラなどで広く使われているJPEG形式の画像ファイルなどを再生することができます。

- 再生できるファイルの拡張子は動画が「.mp4」「.m4v」や「.avi」(Xvid動画)、音楽が「.mp3」、画像は「.jpg」です。
- ※ 拡張子が同じでもデータの構造や圧縮の条件などにより、再生できなかったり、正常に動作しない場合があります。また、上記拡張子以外のファイルの再生は保証していません。

ファイル：音楽CDのトラック(曲)の相当します。

フォルダ：ファイルを収納しているフォルダです。

ファイルやフォルダは階層構造になっています。



準備

USBメモリーを再生する

1. USBメモリーをセットする。

本機右側面のUSB端子にUSBメモリーを差し込みます。



- ◆ USBマストレージクラスに対応したカードリーダーを使えば、メモリーカードを読み込むことができます。

2. 本機の電源をオンにする。

(19ページ参照)

3. USBボタンを押してUSBモードに切り換える。



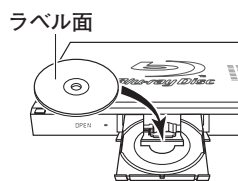
4. USBデバイス名を選択して決定ボタンを押す。

- ◆ 戻るボタンを押せば、ディスク再生モードに戻ることができます。

データCD/データDVDを再生する

データディスクをセットする。

データCDまたはデータDVDを本機にセットします。
(20ページ参照)



記録メディアの読み込みについて

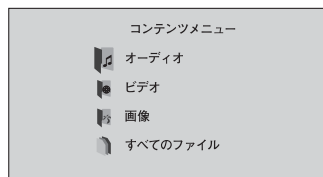
- ※ 記録された環境や記録状態、フォーマットの種類、メディアの製造メーカーなどによっては、本機で再生できない場合があります。
- ※ 本機での操作や再生が原因で万一データが失われたり記録メディアが破損したりした場合でも、弊社では一切の責任を負うことができません。あらかじめご了承ください。



注意 USBマストレージ以外の機器をUSB端子に差し込まないでください。故障や破損の原因となります。またUSBマストレージ機器であっても対応できない場合があります。

メニュー画面から選んで再生する

1. 上下方向ボタン(▲/▼)を使ってコンテンツの種類を選び、決定ボタンを押す。



「オーディオ」「ビデオ」「画像」を選んだ場合はそれぞれ、認識可能なファイルのみが表示されます。「すべてのファイル」を選んだ場合はすべてのファイルが表示されます。

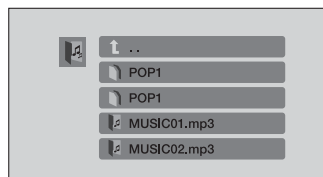


注意 ファイルが表示されても再生できない場合があります。

2. 上下方向ボタン(▲/▼)を使って開きたいフォルダを選び、決定ボタンを押す。

フォルダの中身が表示されます。目的のファイルが表示されるまで、フォルダの選択を繰り返します。

一番上にある「⌵...」を選択すると、1つ上のフォルダへ移動します。



- ◆ コンテンツメニューに戻るには、戻るボタンまたはルートフォルダ(一番上が「...」のみ)で決定ボタンを押します。

3. 再生したいファイルを選び、決定ボタンを押す。

再生が始まります。

- ◆ 映像や画像を表示するときは、ファイルサイズによっては表示に時間がかかることがあります。

すべてのファイルを再生する

1. メニューからコンテンツの種類を選ぶ。

2. 再生したいファイルを含むフォルダに移動してファイルにカーソルを合わせ、右ボタン(▶)を押す。

サブメニューが表示されます。

再生 (すべて)

プレイリストへ追加

プレイリストの表示

ファイル名でソート

情報

3. 上下方向ボタン(▲/▼)を使って「再生(すべて)」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

現在のフォルダにあるすべてのファイルを再生して停止します。

- ◆ 「ファイル名でソート」を選ぶとファイルリストをファイル名順に並べ替えます。
- ◆ 「情報」を選ぶと選択したファイルの情報を表示します。

プレイリストを使う

1. メニューからコンテンツの種類を選ぶ。

オーディオ、ビデオ、画像のファイルをプレイリストに混在して登録したい場合は「すべてのファイル」を選びます。

2. 上下方向ボタン(▲/▼)を使って、プレイリストに登録したいファイルにカーソルを合わせ、右ボタン(▶)を押す。

サブメニューが表示されます。

再生 (すべて)

プレイリストへ追加

プレイリストの表示

ファイル名でソート

情報

3. 上下方向ボタン(▲/▼)を使って、「プレイリストへ追加」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

選択したファイルにチェックが入り、プレイリストに登録されます。

MUSIC01.mp3 ✓

◆ 選択を解除する場合は、サブメニューの「ファイルの選択解除」を選んで決定ボタンを押してください。



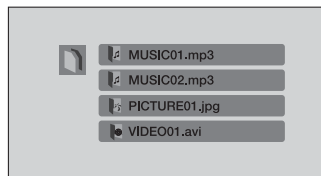
コンテンツメニューに戻ると登録したリストは消去されます。

4. 左ボタン(◀)を押して、ファイルリストに戻ります。

登録したいすべてのファイルについて、2～3の操作を繰り返します。

5. 最後のファイルを登録した後に「プレイリストの表示」にカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

プレイリストが表示されます



6. 上下方向ボタン(▲/▼)を使って、再生したいファイルにカーソルを合わせ、決定ボタンを押す。

再生が始まります。選んだファイルを再生し終わると停止します。

◆ プレイリスト表示中に戻るボタンを押すとファイルリストに戻ります。

◆ プレイリスト表示中に右ボタン(▶)を押すと次の操作が可能です。

再生(すべて)

プレイリストに登録した曲をすべて再生します。

ファイルの削除

現在カーソルがあるファイルをプレイリストから削除します。ファイルが実際に削除されるわけではありません。

プレイリストのクリア

プレイリストを破棄します。

ファイル名でソート

プレイリストに登録されたファイルを名前順に並べ替えます。

情報

選択したファイルの情報を表示します。

スキップ

再生中にスキップ(前/次)ボタンを押す。

押すごとに、前後のファイルに飛び越します。

- ◆ 再生中のフォルダを越えてスキップすることはできません。

リピート再生(オーディオ/ビデオ)

再生中にリピートボタンを押す。

「リピート: オン」という表示が出て、再生中のファイルを繰り返し再生します。

- ◆ リピートを解除するには、再度リピートボタンを押して「リピート: オフ」に切り換えます。



フォルダ全体やプレイリスト全体、メディア全体のファイルを繰り返し再生する機能はありません。

消音(オーディオ/ビデオ)

消音ボタンを押す。

消音マークが画面に表示され、音声が消えます。



- ◆ 消音ボタンをもう一度押すと、元の音量に戻ります。

ファイル情報の表示(ビデオ/画像)

ファイルの再生中に画面表示ボタンを押す。

ファイル名やファイル形式、容量などファイル情報が表示されます。

- ◆ 画面表示ボタンをもう一度押すと、表示が消えます。

タイムバーの表示(ビデオ)

ファイルの再生中にポップアップメニューボタンを押す。

タイムバーが表示され、経過時間や再生の状態などが表示されます。

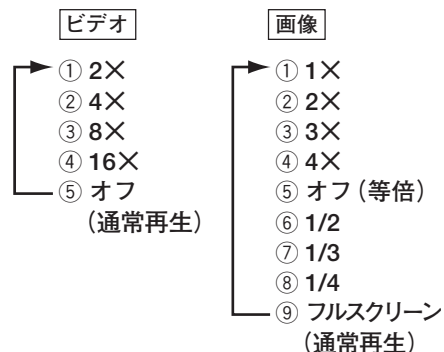


- ◆ ポップアップメニューボタンをもう一度押すと、表示が消えます。

ズーム(ビデオ/画像)

ファイルの再生中にズームボタンを押す。

次のように倍率が切り替わります。

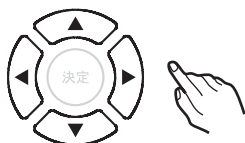


- ◆ 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)を押すと、表示位置を移動することができます(ビデオ再生中はズームの表示が出ている間のみ)。
- ◆ 拡大(縮小)中に戻るボタンを押すと解除できます。

画像を移動する(画像)

ファイルの表示中に方向ボタン(▲/▼/◀/▶)を押す。

画像が移動します。



- ◆ この操作を行うと、画像は一時停止の状態になります。ファイルリストに戻るには**停止**ボタンを、次(前)のファイルへ移るには**次(前)**ボタンを押してください。
- ◆ 別の画像に移ると、位置の状態はリセットされます。
- ◆ 移動した状態で、ズーム機能を使って画像を拡大(縮小)したり、方向ボタン(▲/▼/◀/▶)を使って拡大(縮小)位置を移動したりできます。

画像を回転する(画像)

ファイルの表示中にカラーボタン(青/赤)を押す。

画像が回転します。



左に90度回転 右に90度回転

- ◆ この操作を行うと、画像は一時停止の状態になります。ファイルリストに戻るには**停止**ボタンを、次(前)のファイルへ移るには**次(前)**ボタンを押してください。
- ◆ 別の画像に移ると、回転の状態はリセットされます。
- ◆ 回転させた状態で、ズーム機能を使って画像を拡大(縮小)したり、方向ボタン(▲/▼/◀/▶)を使って拡大(縮小)位置を移動したりできます。

故障かな?と思ったら

故障と思われる症状が出た場合、もう一度下の表にしたがって確認してください。

症 状	対 応	参照ページ
電源が入らない。	・ 電源プラグの接続が確実かご確認ください。 ・ 電源プラグが破損していないかご確認ください。 ・ 高温／低温下では使用できない場合があります。周囲温度+5～+35℃の環境でご使用ください。	19 — 45
ディスクが再生できない。	<ディスクのご確認> ・ 他のディスクが再生できるかまずご確認ください。確認には傷や汚れのない市販(またはレンタルなど)のビデオソフトをご使用ください。問題なく再生できる場合は、ディスクに起因する問題の可能性があります。 ・ ディスクが汚れている場合は、ディスクをクリーニングしてください。 ・ 本機で再生できる規格のディスクかご確認ください。 ・ 記録型DVDを再生する場合は、必ず「ファイナライズ」の処理を行ってください。ファイナライズの方法は、各記録機器(DVDレコーダーなど)のメーカーにお問い合わせください。 ・ 記録型のBDやDVD、CDは、機器とディスクの相性や記録状態により再生できない場合があります。 ・ ディスクの劣化などにより、以前再生できていたディスクが再生できなくなる場合があります。 ・ データディスクを再生される場合は、フォーマットをご確認ください。本機はISO9660モード1に準拠するデータCDやISO9660レベル1／UDF1.02に準拠するデータDVDなどに対応しております。なお、派生規格によっては対応できない場合があります。Windowsのエクスプローラやパケットライト方式で書き込んだディスクの再生は保証していません。 <本機のご確認> ・ 電源プラグや映像・音声ケーブルなど、本機の接続が確実かご確認ください。 ・ 映像出力の設定が正しいかご確認ください。 ・ 本機にディスクが入っているかご確認ください。 ・ ディスクはラベル面を上にしてディスクトレイに正しく載せてください。 ・ 本機内に結露が無いかご確認ください。	— 9 10 — — — 13～17、19 30 — 20 8
映像が出ない。	・ 映像ケーブルの接続が確実かご確認ください。 ・ 映像ケーブルが破損していないかご確認ください。 ・ 外部入力モードへの切り換えなど、テレビ側の操作が適正かご確認ください。 ・ AVアンプ経由でテレビに接続されている場合は、AVアンプ側の操作が適正かご確認ください。 ・ ビデオ一体型テレビやビデオデッキに接続すると、コピーガードが動き正しく表示されない場合があります。直接テレビに接続してお楽しみください。	13～17 — — — —

症 状	対 応	参照ページ
映像が出ない。 (続き)	・ 設定メニューの画面解像度の設定が、ご使用のテレビに合っているかご確認ください。 ・ HDMIケーブルやコンポーネント映像ケーブルでテレビと接続されている場合は、一度付属の映像・音声ケーブルに接続しなおして映像が表示されるかご確認ください。この方法で映像が表示されるようなら、設定メニューで画面解像度の設定が正しいかお確かめいただき、再度従来の接続方法で表示されるかご確認ください。 ・ DVI端子を備える機器への接続は保証しておりません。 ・ 映像のないディスクでないかご確認ください。	30 13~15 — —
画面表示が乱れる。	・ ディスクの読み込み中や、停止したとき、設定メニューに入るときなど画面モードが切り替わる際に画面が一瞬乱れる場合があります。 ・ 2層ディスクを再生中、1層目から2層目(または2層目から1層目)に切り替わる場合に画面が一瞬途切れる場合があります。 ・ 映像端子が汚れていないかご確認ください。	— — —
画面の縦横比がおかしい。	・ 設定メニューのテレビ画面の設定を、ご使用のテレビに合わせてください。 ・ 画面モードの設定など、テレビ側の操作が適正かご確認ください。 ・ テレビの仕様により縦横比が正しく表示されない場合があります。	30 — —
音が出ない。	・ 音声ケーブルの接続が確実かご確認ください。 ・ 音声ケーブルが破損していないかご確認ください。 ・ テレビの音量が小さくないか、消音状態になっていないかなど、テレビ側の操作が適正かご確認ください。 ・ AVアンプに接続されている場合は、AVアンプ側の操作が適正かご確認ください。 ・ ご使用のテレビまたはAVアンプにヘッドホンが接続されていないかご確認ください。 ・ 消音ボタンを押して本機を消音状態にしていないかご確認ください。 ・ 音のない映像を再生中だったり、サーチ、一時停止、スローなど音のない状態でないかご確認ください。 ・ 設定メニューのデジタル出力の設定が実際の接続と一致しているか、またご使用のテレビまたはAVアンプに合っているかご確認ください。 ・ ディスクに収録されている音声フォーマットに本機が対応しているかご確認ください。 ・ ディスクに収録されている音声フォーマットをご使用中の音声端子から出力できるか、また実際に出力される音声フォーマットに接続先のAVアンプやテレビが対応できるかご確認ください。	13~17 — — — — 24 — 31, 34~35 31, 34~35 31, 34~35

故障かな?と思ったら(続き)

症 状	対 応	参照ページ
音声が出ない。 (続き)	・ リニアPCMで出力している場合、ご使用のテレビまたはAVアンプがサンプリング周波数に対応できるかご確認ください。48KHzのみに対応する場合は設定メニューのPCMダウンサンプリングの設定をオンにしてください。 ・ 設定メニューのスピーカーで、各スピーカーの出力がオフになっていないかご確認ください。 ・ ディスクによっては音声設定の状態によりデジタル出力ができない場合があります。 ・ ディスクによってはデジタル出力ができない場合があります。	31 32 — —
音がひずむ。	・ 本機の音声設定や、ご使用のテレビまたはAVアンプの音声設定、また本機との接続が適正かご確認ください。 ・ 音声端子が汚れていないかご確認ください。	31~32 13~17 —
音が小さい。	・ 設定メニューのダイナミックレンジ制御がオンになっている場合は、一度オフにしてお試しください。 ・ テレビの音量が小さくないかなど、テレビ側の操作が適正かご確認ください。	31 —
リモコンが動作しない。	・ ご購入直後は、リモコンに電池が入っていません。付属の乾電池を正しく入れてください。 ・ 本機の電源が入っているかご確認ください。 ・ リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。 ・ リモコンと本機の間にある障害物を取り除いてください。 ・ リモコンの電池を新しいものと交換してください。	18 19 18 — 18
操作できない。 反応が遅い。 反応がない。 挙動がおかしい。	・ 電源を入れた直後の起動中や、ディスクの読み込み中、ディスクの取り出し中など特定の動作中は操作を受け付けることができません。誤動作の原因になりますので、その間のボタン操作はおやめください。 ・ ディスクの再生を始めた直後など、シーンによっては、制作者の意図により特定の操作が禁止されている場合があります。 ・ 本機の仕様として機能呼び出せない場面では、操作を受け付けません。 ・ 本体内の処理の関係上、ボタン操作がプレーヤーの動作に反映されるまでに若干の間隔を生じますが故障ではありません。ボタンを連打いたしますと誤動作の原因になりますのでおやめください。	— — — —

故障かな?と思ったら(続き)

症 状	対 応	参照ページ
操作できない。 反応が遅い。 反応がない。 挙動がおかしい。 (続き)	・ ディスクの読み込み中や再生中に開/閉ボタンを押してディスクの取り出しを指示した場合、終了処理により数十秒から数分間お待ちいただくことがあります。その間にボタン操作を行うと誤動作の原因になりますので処理が終了するまでお待ちください。 ・ 本機の挙動が明らかにおかしい場合は、まず設定メニューのローカルストレージからフォーマットを実行してください。その後、同じく設定メニューから設定の初期化を実行してください。	— 29



本機が動かなくなった/操作を受け付けなくなった…

全く操作を受け付けず停止してしまった、数十分待っても反応がないといった場合は、リモコンの電源ボタンを3秒以上、押し続けてください。本機が自動的に再起動します。

- ◆ 3秒未満で指を離してしまったときは、1分ほどお待ちいただき、もう一度お試しください。
- ◆ 本体の電源ボタンを押し続けても再起動されません。
- ◆ 万一上記の方法で再起動しない場合は、一度電源プラグを抜き、再度電源を入れ直してください。

技術仕様

品名	ブルーレイディスク・プレーヤー
型番	BBDP-10
電源	AC100V～240V、50/60Hz
消費電力	27W以下(動作時)、3W以下(待機時)
重量	約 2.8kg
寸法	幅430mm × 奥行270mm × 高さ52mm(突起含む)
許容動作温度	+5℃～+35℃
許容動作湿度	5%～90%(結露しないこと)
対応ディスク (レーザー波長)	Blu-ray Disc(405nm)、DVD(650nm)、CD(780nm)
テレビ方式	NTSC
アナログ映像出力	映像(コンポジット)出力:1.0 Vp-p (75Ω) S映像出力 輝度:1.0 Vp-p (75Ω)、色差:0.3 Vp-p (75Ω) コンポーネント映像出力 輝度:1.0 Vp-p (75Ω)、Cb/Pb:0.7 Vp-p (75Ω)、 Cr/Pr:0.7 Vp-p (75Ω)
デジタル映像/音声出力	HDMI
アナログ音声出力	2チャンネル(左/右) 7.1チャンネル(センター、フロント左/右、サラウンド左/右、サラウンドバック左/右、サブウーファー)
デジタル音声出力	光デジタル 同軸デジタル
音声特性	周波数応答:4Hz～22kHz(48kHz/96kHzサンプリング) SN比:95dB ダイナミックレンジ圧縮:85dB 全高調波歪み率:0.01%

※ 上記仕様は参考値です。また、仕様は改善のため予告なく変更する場合があります。

言語コード表

「音声」「字幕」「ディスクメニュー」の言語を設定メニューから選ぶ際に適切な言語が見つからなかった場合は「その他」を選び、次の4ケタのコードを入力します。

言語名:入力コード

Abkhazian : 6566	Hebrew : 7387	Rhaeto-Romance : 8277
Afar : 6565	Hindi : 7273	Romanian : 8279
Afrikaans : 6570	Hungarian : 7285	Russian : 8285
Albanian : 8381	Icelandic : 7383	Samoaan : 8377
Ameharic : 6577	Indonesian : 7378	Sanskrit : 8365
Arabic : 6582	Interlingua : 7365	Scots Gaelic : 7168
Armenian : 7289	Irish : 7165	Serbian : 8382
Assamese : 6583	Italian : 7384	Shona : 8378
Aymara : 6589	Japanese : 7465	Sindhi : 8368
Azerbaijani : 6590	Javanese : 7487	Slovak : 8375
Bashkir : 6665	Kannada : 7578	Slovenian : 8376
Basque : 6985	Kashmiri : 7583	Somali : 8379
Bengali, Bangla : 6678	Kazakh : 7575	Spanish : 6983
Bihari : 6672	Kirghiz : 7589	Sundanese : 8385
Breton : 6682	Korean : 7579	Swahili : 8387
Bulgarian : 6671	Kurdish : 7585	Swedish : 8386
Burmese : 7789	Latin : 7665	Tagalog : 8476
Catalan : 6765	Latvian, Lettish : 7686	Tajik : 8471
Chinese : 9072	Lingala : 7678	Tamil : 8465
Corsican : 6779	Lithuanian : 7684	Tatar : 8484
Croatian : 7282	Macedonian : 7775	Telugu : 8469
Czech : 6783	Malagasy : 7771	Thai : 8472
Danish : 6865	Malay : 7783	Tibetan : 6679
Dutch : 7876	Malayalam : 7776	Tigrinya : 8473
English : 6978	Maltese : 7784	Tonga : 8479
Esperanto : 6979	Maori : 7773	Turkish : 8482
Estonian : 6984	Marathi : 7782	Turkmen : 8475
Faroese : 7079	Moldavian : 7779	Twi : 8487
Fiji : 7074	Mongolian : 7778	Ukrainian : 8575
Finnish : 7073	Nauru : 7865	Urdu : 8582
French : 7082	Nepali : 7869	Uzbek : 8590
Galician : 7176	Norwegian : 7879	Vietnamese : 8673
Georgian : 7565	Oriya : 7982	Volapük : 8679
German : 6869	Pashto, Pushto : 8083	Welsh : 6789
Greek : 6976	Persian : 7065	Wolof : 8779
Greenlandic : 7576	Polish : 8076	Xhosa : 8872
Guarani : 7178	Portuguese : 8084	Yiddish : 7473
Gujarati : 7185	Punjabi : 8065	Yoruba : 8979
Hausa : 7265	Quechua : 8185	Zulu : 9085

著作権について

- ◆ ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律により禁止されています。
- ◆ ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。
- ◆ 本機はマクロビジョンコーポレーション等が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、同社の認可がない限りは一般家庭および特定の視聴用に制限されています。解析(リバースエンジニアリング)または改造は禁止されています。
- ◆ Blu-ray Discおよびは商標です。
- ◆ DVDロゴはDVDフォーマットロゴライセンシングの商標です。
- ◆ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号「DD」は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- ◆ DTS、およびDTS Digital SurroundはDTS, Inc.の商標または登録商標です。
- ◆ “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ◆ HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- ◆ Java、および全てのJava関連のマークは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

困ったときは

問題が解決しないときは、まずは本書41ページの『故障かな?と思ったら』やホームページの『FAQ(よくあるご質問と答え)』をご活用ください。

<http://www.bluedot.co.jp/support/>

BLUEDOT[®] 株式会社

〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-22-2 E,S 林ビル

E-mail : info@bluedot.co.jp

<http://www.bluedot.co.jp>

ブルードットサポートセンター

TEL: 0570-010080 (ナビダイヤル)

※ナビダイヤルをご利用になれない場合は 048-662-7784 まで

E-mail : support@bluedot.co.jp